



世界に希望を生み出そう

RI 会長：ゴードン R. マッキナリー

2620 地区ガバナー：中村 皇積

会長：渥美 聡一郎 幹事：志賀口 裕輔 会場監督：内山 義之

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2024年3月29日（金） 晴 第1652回例会 週報 NO. 28

司 会：次廣 晋一会場監督補佐
点 鐘：渥美 聡一郎 会長
ロータリーソング

「手に手つないで」

ゲスト

- ・（財）浜松国際交流協会
地域日本語教育統括コーディネータ
内山 夕輝様
- ・新会員予定者
寺田朋広さん・山崎雅裕さん

会長挨拶



年度末のお忙しい時期にご参加いただき、ありがとうございます。風邪やインフルなども流行っていて、先ほど久米さんがご家族の体調が悪いと返られました。皆様も体調を崩さないように気を付けてください。

本日は浜松国際交流協会の内山様にお越しいただき、卓話を頂きます。よろしくお願いします。

また今日は 6 時から新会員のオリエンテーションも行いました。次週は入会式で、その後歓迎会も予定しています。ご都合のつく方はぜひご参加ください。

今年度はこれが 3 回目の入会式になります。6 名の新会員で、志賀口幹事とは目標を 7 名としていたので、少し届きませんでした。が、まずまずだったと思います。

幹事報告



・静岡第5グループ合同奉仕の詳細内容についてはメールします。雨天の場合は事前に案内します。中 RC 黄色いジャンパーをお持ちください。

スマイル

♪渥美聡一郎さん、志賀口裕輔さん
本日は浜松国際交流協会、内山様の卓話です。外国の子ども教育について大変興味深いお話です。宜しくお願いします。岩田会員のお顔も見られて嬉しいです。



♪中山和彦さん

- ① 当社浜松倉庫が経済産業省主催の中堅中小企業DXセレクション 2024 に応募したところ、栄えあるグランプリを受賞しました。
- ② 30 年間中国の会社をやってきましたが、昨年売却をし、今月お金が振り込まれ、無事に撤退ができました。



♪栗原伸夫さん

先週土曜日に原さんと二人でガーデンパークの植栽作業に行ってきました。ひどい雨で中 RC の黄色いジャンパーではずぶぬれになりました。クラブのカップがほしいです。



♪佐藤芳一さん

今年のスキー終わりました。ダイナランド上から下までノンストップで降りられ良かったです。



♪中村将義さん

4 月 6 日より、浜名湖花博ガーデンパーク会場が始まります。モネガーデン横で、推しの浜松総選挙でグランプリを受賞したポップオーバーサンドを提供します。ぜひお越しください。



卓話

「外国ルーツの子どもの教育の現状と課題」

ゲスト紹介：岩田直也さん



内山さんは浜松市出身、東京外国語大学を卒業し2006年から浜松国際交流協会へ。2018年上皇・上皇后両陛下が浜松にいらした際に、ご案内もされています。

内山 夕輝 様



上皇・上皇后陛下がお見えになった際のエピソードは尽きることなくあります。いろいろな国籍の学習者の方に自ら手を差し伸べて握手をしてくださったり、フランス語で話をされたり、感動することがいっぱいありました。

今日は、令和4年度に行われた日本語能力調査それから日本語使用状況調査の報告を致します。その調査結果に基づいて、今浜松市では日本語教育に関するアクションプランを作っています。

今までの外国人市民への調査では、日本語能力については自己評価だけで、客観的なものが必要でした。そのため、「英検」のような日本語テストを行いました。テストを受けた500人のうち、県立

高校定時制、公立中学、外国人学校の生徒300人弱が今後の浜松を占う10代の若者でした。テストの後には使用状況について母語でアンケートに答えてもらいました。

今回は特にその10代の若者についてお話します。在留資格は3割が「永住者」、9.5%が「家族滞在」でした。「家族滞在」は帯同する家族の資格なので、単身で自立生活を送ることを想定されていません。日本で進学、就職を目指すうえではかなり制約が生まれます。これを学校関係者は留意する必要があります。在留資格の切り替えも簡単ではありません。今後この資格をもつ若者が増えることが懸念されます。

テストの結果、滞在年数が高い人が日本語能力が高いというわけではありませんでした。つまり、長期滞在者の日本語習得に課題があると言えます。日本語習得は個人の判断に任せられていますが、学ぶ環境を社会が作っていく必要があります。

日本生まれの10代は確実に増えていますが、そのうち約80%が基礎レベルの言語使用者でした。子どもは発達途中にあるので、テストですべてを語れませんが、彼らの言語習得は浜松市の今や将来にとっての課題と言えるでしょう。学校だけに任せるのではなく、家庭や保護者の務める企業、地域が一体となって支援をする必要があります。

アンケートによると、10代の30%が永住予定でしたが、「いつかは日本から出る」という内容に答えた人は40%を超えました。自身の滞在予定によってテストの平均点の差が生じています。しかし、帰国予定やそれ以外の国に住みたいという人たちへの日本語学習の動機付けが必要です。日本語ができれば生活の質を高めることができるし、キャリアアップにもつながることを伝えたいと思います。

日本人の友人がいると日本語能力が高いという結果もでました。今は外国語を習得しなくても生活できるようになり、実際浜松では日本語を学ばなくても生活できる

環境があります。でも、人間関係を築くには言葉を使ったコミュニケーションが有効です。日本人にも相手に寄り添った日本語使用が重要と啓発していきたいです。

日本生まれでも十分日本語が育っていない、日本で育っていても日本は仮の場所という若者。一方で日本人とコミュニケーションと取りたい人もいます。彼らが将来地域構成員の一人となり、バトンを渡していくためにも言語習得への包括的支援が必要だと考えます。同時に日本人側の持つ壁を取り払うことも必要です。

浜松市は今年度から5年間、地域の中で日本語教育の質を高めるため29の具体的なアクションと目標を設定しました。より高い成果をだすためにも、皆様のご協力をお願い致します。

出席報告

発表：建部仁洋 出席委員

会員数	41名
出席者数	23名
出席算定会員数	33名
出席率	69.70%

前々回出席者数
23名
前々回出席率
69.70%



ガーデンパーク植栽作業



新会員オリエンテーション

